

東播磨地域ビジョン委員会が 取り組む重点行動プランを紹介！



7月7日、東播磨地域ビジョン委員会は提案会議を開催し、16の多彩な重点行動プランが提案されました。その後、提案内容をさらに検討し、企画部会での意見交換を経て、現在11の重点行動プランが活動を開始しています。
地域ビジョンの実現に向けて、がんばります！

PLAN

沿線地域の活性化をめざして走る 「歌声列車」

代表：濱田 裕二委員

11月11日開催 「加古川線域ふれあいフェスティバル」

JR加古川線の沿線地域の活性化をめざし、北播磨・丹波地域との人的・物(商工・農産物)的交流の促進を図るため、三地域合同で、これまでの歌声列車イベントとは趣向を変え、「親子」を対象として、JR西脇市駅前の旬菜館駐車場で「加古川線域ふれあいフェスティバル」を開催しました。

準備万端で当日を迎えましたが、あいにくの雨模様のため、当初の計画通りにはミニ機関車を運行できなくなったものの、急遽、直線距離16mの路線を確保し、運行することにしました。雨にもかかわらず、多くの方が見に来て、列車に乗車していただき、高校生が扮した「トレインジャー」や、丹波竜の「ちーたん」、西脇市の「にっしー」

との記念撮影は人気があり、会場で写真を受け取れるサービスは大変好評で、印刷が間に合わないほどの行列ができました。

また、当日の特典として、来年4月実施予定の第14次歌声列車への優先申し込みを実施したところ、多くの方にお越しいただくことができました。



「ファイヤーベンチャーズ」の演奏では、ダンスを踊っていただき、観客もリズムに合わせて体を動かしながら聴き惚れていました。

PLAN

子どものための仕事体験プログラム 「職業人と語ろう」

代表：濱田 美恵子委員

実践活動グループ「夢のたね」は、地域で活躍する大人(職業人)と協力して、「職業人と語ろう」の開催に取り組んでいます。

活動のねらいは、「職業人と語ろう」を通じて、地域の子どもたちに将来の夢を描くきっかけをつかんでもらうことです。子どもたちが現実の社会での仕事を体験することで、将来の夢を考えるきっかけになることを願っています。

子どもたちの夢を育み、共に成長していきたいと考えます。

私たち夢のたねは3市2町の全小学校での「職業人と語ろう」の開催を夢見てがんばります。

11月13日開催 「職業人と語ろう in 加古川市立西神吉小学校」

加古川市内の小学校では初めての開催になりました。6年生の生徒86名が職業人講師の指導を受け、生き生きと職業体験を楽しみました。修学旅行で「キッザニア*」を体験した彼らですが、児童から講師へのお礼の言葉に「『キッザニア』では、仕事は楽しいものだと思っていましたが、今日職業体験をして、きびしい、しんどい部分があるのだとわかりました」のコメントにホッとしました。10職種の講師の方々の努力で、子どもたちの瞳は確かにきらきらと輝いていました。

*キッザニアは、好きな仕事にチャレンジできる子どもが主役のテーマパーク。

